

2025年度 北海道トレセン U-11 冬季交流大会(8人制) 開催要項

1. 主 旨
 - ① 少年サッカー選手の技術向上と、U-11 年代のトレセンを活性化させ、全道のサッカー指導者の意識を高める。
 - ② 北海道における冬季期間の育成・強化の一つとして、8人制サッカーを推奨するとともに、次年度の U-12 ナショナルトレセン派遣選手の発掘の場とする。
 - ③ 女子 U-12 の選手、指導者の交流の場とする。
2. 名 称 2025 年度 北海道トレセン U-11 冬季交流大会(8人制)
3. 主 催 (公財)北海道サッカー協会
4. 主 管 (公財)北海道サッカー協会技術委員会 ユース育成部会 U-12 部会
5. 期 日 2026年1月31日(土)～2月1日(日)
6. 日 程

【1月31日(土)】 8:30～9:00 開場・準備 8:40 代表者会議(午前の部) 9:00 競技開始 13:10 代表者会議(午後の部) 19:00 競技終了	【2月1日(日)】 8:30～9:00 開場・準備 9:00 競技開始 18:00 競技終了 ※多少の変更の可能性あり
--	--
7. 会 場 北村土里夢(空知郡北村字幌達布 5180-22 TEL0126-32-4160)
三笠ドーム(三笠市若草 280 TEL01267-2-7511)
8. 参 加 資 格
 - 1)チーム
 - ①各地区トレセンに所属するU-11 で構成されたチームであること。
 - ②審判員(監督・コーチ可)1名を帯同できるチームであること。
 - ③南・北北海道トレセンU-11 は、北海道トレセン U-11 のエリート(強化指定)選手で構成する。
 - ④北海道トレセン U-12 女子は、エリート(強化指定)選手で構成する。
 - ⑤北海道トレセン U-12 フューチャーは、北海道トレセン U-12 の9月以降生まれの選手で構成する。
 - ⑥登録指導者は、サッカー協会公認指導者ライセンスを取得していること。
 - 2)選 手
 - ①日本サッカー協会に個人登録済みの U-11 の選手であること。
 - ②保護者及び所属チームの同意を受けたものであること。
 - ③連続の試合に耐えうる健康体であること。
 - ④小4の選手の参加も認める。
9. 参加チーム及びその数 20チームを上限とする。参加を希望するチームの数によって組み合わせを考える。
 - ① 南・北北海道トレセン U-11 エリート(強化指定)選手をそれぞれのチームとして参加させる
 - ② 北海道トレセン U-12 フューチャーチームを参加させる
 - ③ 北海道トレセン U-12 女子チームを参加させる
 - ④ 地区の合同チームを認める。
 - ⑤ 札幌トレセンは 3 チームの参加とする。
 - ⑥ 参加チーム数によっては、複数エントリーを認める。

10. 競技規則及び方法
- ① 8人制大会競技規則(別紙参照)による5×4ブロック予選リーグ・順位リーグ戦とする。
 - ② 選手登録の人数は特に指定しないが、18名以内が望ましい。
 - ③ 前後半で選手を入れ替え、選手のプレーする時間を確保することを原則とする。
 - ④ 試合球は、屋外用4号球を使用する。
 - ⑤ 試合時間は、予選リーグは14分の2ピリオド制、順位リーグは11分の2ピリオド制とする。参加チーム数によって変更もあり得る。
 - ⑥ リーグ戦の順位の決定方法は、次による。
 - イ)勝点(勝3点、分1点、負0点)
 - ロ)得失点差(総得点－総失点で大きい方)
 - ハ)総得点(総得点の多い方)
 - ニ)当該チームの勝敗
 - ホ)抽選
11. 参加申込
- 参加チームは、以下の手続きを期日までに完了すること。
- ① 参加確認を以下のURLもしくは右の2次元コードより返信すること。
<https://forms.gle/VwBuH5BXhLKWfLz3A>
※締め切り 2025年12月26日(金)17:00まで
 - ② 申込書(メンバー表)と弁当申込書(希望地区)を下記宛へE-mailで提出すること。
※締め切り 2026年1月18日(日) 17:00 必着
 - ③ 大会参加料の納入
※大会参加料として2000円(1日あたり1000円)×選手人数分を当日各会場の本部で納入すること。
※参加承諾書を当日の代表者会議に持参すること。
【申込書送付先】
(公財)北海道サッカー協会 技術委員会 熊谷 卓郎 宛
(携帯)090-5220-7162 (Eメールアドレス) sfau12kumataku@yahoo.co.jp
12. 組合せ
- 申し込みチーム決定後、(公財)北海道サッカー協会技術委員会にて行う。
13. 帯同審判
- 4級以上の審判の帯同を義務付ける。審判割り当てにしたがい、相互審判制で行う。
1人審判制を採用する。(前後半で交替する。)
帯同審判員は、要請を受けた大会期間中、審判業務に当たらせるものとする。
責任者及び指導スタッフの審判兼務を可とするが審判業務を最優先すること。
審判服もしくは審判用ビブスの着用を義務づける
14. ユニフォーム
- (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程による。(2着用意するのが望ましい)
用意できないチームは、ビブスで対応してよいが固有の番号を所有させること。
15. 監督会議
- 期日:2026年1月23日(金) 19:00～
方法:WEB会議で行う
※各チーム代表者1名以上の参加を義務づける。
※会議資料等は1週間前程度に送付する。
16. 開・閉会式
- 行わない
17. 負傷及び事故の責任
- 大会期間中の負傷及び事故の責任は当該チームが負うこととする。また、医師及び救急用品の準備は各チームの責任において行う。



18. そ の 他
- ① 情報交換の資料とするため、参加申込書にはできるだけ選手固有の背番号を記載するとともに、試合においてはその背番号のユニフォームを着用することが望ましい。
 - ② 両会場とも施設使用上の注意を遵守のこと。ゴミは持ち帰ること。
 - ③ 両会場とも応援の方は室内履きが必要である。
 - ④ 大会についての詳細は、参加確定チームに別途送付する。
 - ⑤ 宿泊について
宿泊関係については各チームで手配すること。
 - ⑥ 弁当について
※申込書を提出する際に、弁当希望欄に記入する。
※予選の組み合わせが決定したら、注文用紙を各チームに送付する。
※なお、弁当については(公財)北海道サッカー協会技術委員会 U-12 部員熊谷が担当する。
 - ⑧ 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、
当運営委員会(主催者・技術委員長・審判委員長・U-12 責任者等)において協議のうえ、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意すること。
 - ⑨ 参加者はスポーツ傷害保険またはそれに準じた保険に加入していること。

＜北村土里夢会場＞

- ① 以前は固定式スパイクの使用を可としていたが、現在は芝を張り替えたためスパイクの使用は不可とする(トレーニングシューズの使用は可)
- ② 選手の控え場所が狭いので、各チーム譲り合って利用のこと。隣接する公民館を控え場所として使用できるように交渉中。
- ③ アップ場所がないので、試合の妨げにならない範囲でアリーナの隅で行うこと。
- ④ 少年用ゴールを使用する。
- ⑤ 飲み物の自販機あり。
- ⑥ アリーナ内の飲食は一切禁止。

＜三笠ドーム＞

- ① 砂入り人工芝会場であるが砂の量は少ない。屋外用固定式スパイクの使用は禁止されている。トレーニングシューズは使用可。
 - ② 2 階観覧席をチーム控え場所とする。
 - ③ 若干のスペースでアップ可。譲り合って利用のこと。
 - ④ 少年用ゴールを使用する。
 - ⑤ 飲み物とカップ麺の自販機あり。
 - ⑥ アリーナ内の飲食禁止。2 階観覧席は可。
- ※両会場ともに自動車で 5 分圏内にコンビニあり

19. 問 合 せ 先
- 不明なことへの問い合わせや、連絡先は下記へお願いいたします。
(公財)北海道サッカー協会技術委員会 ユース育成部会 U-12 部会
担当者: 松井 芳樹 [携帯Tel:090-2070-8202]